

令和元年度第3回 帯広市行財政運営ビジョン検討委員会 議事要旨

日時：令和元年8月21日（水）午後1時30分～午後2時50分

場所：帯広市役所 10階 第5B会議室

■ 出席委員

岩崎委員、河西委員、仙北谷委員、坪委員、鳥井委員、三品委員（五十音順）

■ 事務局

総務部行政推進室 河原室長、松原主幹、中橋行政推進主幹、中山主任補

■ 傍聴者等

報道関係者2名

■ 次第

1 開会

2 議題

(1) 帯広市行財政運営ビジョン 平成30年度実施計画状況報告書について

(2) 帯広市行財政改革計画の検討について

(3) その他

3 閉会

■ 委員からの意見等

(1) 帯広市行財政運営ビジョン 平成30年度実施計画状況報告書について

- ・「24 情報化によるサービス向上の推進」については、取組の成果を件数で示しているが、手続総数のうち、インターネットを使ったものの割合がどれくらいあったか、とした方が情報化の推進を計測できるのではないかと
- ・「22 窓口サービス等の充実」については、アンケートの結果を反映しているということだが、余程不適切な対応をされたというようなことがなければ、あまり不満を覚えることもないと思われる。目標の80%に近いから良いということではなく、むしろ100%にならない20%の差の部分に、「改革」を実施していくことが重要ではないかと
- ・全体を通して、そうした観点で検証を要するものがあると感じている
- ・施設予約システムについては、個人的に利用することもあり、動作が遅いと思うことがある一方で、指定管理者に電話で問い合わせをすると、非常に良い対応をしていただけましたということもある。このような、アンケートだけではなかなか拾いきれない部分をどう評価するかという視点も重要だと思う
- ・「市民実感度」について、近年では概ね横ばいになっているが、本当に市民の実感度を測れるアンケートになっているのだろうかという疑問がある。データの継続性の観点から、同じ質問項目を使用することも必要だが、一方で、市民が何を応えていいかわからないような質問になっていないという検証も継続的に行ってほしい
- ・主な取り組み事例の【実施項目8】は、面白い取組だと思っており、行政について理解を深めてもらう良い機会となると思う
- ・同じく【実施項目15】では、「設置型授乳室」について記載があるが、そもそも「設置型授乳室」とはどういうものなのか、という説明があった方がわかりやすいのでは

- ・各個票の「工程」や「取組の計画」などを見ていくと、毎年同じ文言が並んでおり、形式主義的に見えてしまう。次期計画でも各取組項目の進捗を示す必要があると思うので、レイアウトについても検討した方がよいと思う
- ・「30 適正な文書事務の推進」では、取組の実績として研修の実施内容が記載されているが、住民から見るとあまり関係がないようにも思える。研修の実施実績だけ並べても形式上のものに見えてしまうので、何をもって適正であるかを図るのか、という点を検討すべきと思う

(2) 帯広市行財政改革計画の検討について

- ・実施項目の記載イメージに関して、取組を実施した結果どうなるのか、という点が見えるように、「目標」などの項目を設けた方がよいと思う
- ・キャッシュレス決済については、道内事業者の対応率は14%前後というデータもある。今後、普及の余地は多分にあると思われるし、自治体においても税金や水道料の支払いに使えるように、ということは当然に進めるものだろうという感はある
- ・住民票や運転免許の更新など、キャッシュレスになればいいのに、という声は一定数あるだろう
- ・事業者の目線で見ると、キャッシュレス事業者の数が多く、ユーザーも都度アプリを立ち上げる必要もあるなど、全体的に手間がかかるという話もある。ただ、いずれはQRコードも統一規格化されるだろうし、導入コストも大きくないということであれば、基本的には進めるべきだと思う
- ・アウトソーシングを進めることは重要だとは思いますが、デメリットとして、行政側にノウハウが蓄積されない、業務の受け手がいない、アウトソーシング後も将来的に業界自体が存続しているかわからない、などの点がある。業務を手放したものの、また行政が引き受けなければならないなどの事態が起きる可能性もあり、そうになると相当厳しい状況になる
- ・何らかの目的があり、その手段として民間にやってもらう、という形にする必要がある
- ・今後、従来は民間でやってきたが、自治体で引き受けざるをえないようなサービスが出てきたときに、公民連携と言いつつ、一方通行だけの計画だけ立てていいのか、という視点も持っておいたほうが良い
- ・民間活力というと、市から民間に仕事を出すようなイメージが強いが、逆に、民間から仕事を受注するという視点は持てないものか。企業から公益性の高い業務を受注し、収入を増やすという発想もありうるのではないか